

令和7年度（補正繰越）災害廃棄物処理対策研修等モデル（中国四国地方）業務

質問事項	回答
<p>仕様書 p.1 3 (1) ①研修地域の選定</p> <p>「研修を実施するモデル自治体については、研修実施を希望した自治体の中から3自治体（県も可）を選定し」とあります。この選定に際し、管内各地方自治体に研修実施希望を募るための案内発出は、発注者・受託者いずれの所掌となりますか。また、受託者がこれを行う場合、案内を発出する管内自治体の災害廃棄物処理担当部署の連絡先（部署名や電話番号、メールアドレス等）は発注者よりご提供いただけると思込んでよろしいでしょうか。</p>	<p>研修を希望する自治体については、発注者にて事前に募集しています。</p> <p>受注者は発注者担当官（以下担当官という）と協議しモデル自治体を選定します。</p> <p>選定された自治体の連絡先等は担当官より提供されます。</p>
<p>仕様書 p.1 3 (1) ①研修地域の選定、②研修等実施内容の検討</p> <p>「①研修地域の選定」では、「モデル自治体」にて「災害廃棄物処理に係る講義」及び「災害廃棄物処理に係るワークショップ」を行う、とあります。一方、「②研修等実施内容の検討」では、「モデル地域」にて、それぞれ1回講義又はワークショップ等を開催する、とあります。</p> <p>1) モデル自治体とモデル地域は異なる定義づけのものでしょうか。異なる場合は、モデル地域が何を指すのか、対象地域数がいくつあるのか、ご教示ください。</p> <p>2) モデル自治体とモデル地域が同一の意味の場合、講義とワークショップは、いずれかを1回実施するのか、両方を各1回実施するのか、ご教示ください。</p> <p>3) 講義とワークショップ両方を実施する場合、1日のうちに両方開催するのか、それぞれ別日で開催するのか、ご教示ください。</p>	<p>1) については、モデル自治体とは研修等に応募してきた自治体を指します。</p> <p>また、モデル地域とは、モデル自治体が主体となって周辺自治体と一緒にすることもありあえて地域としています。</p> <p>研修実施単位はあくまで3地区です。</p> <p>2) については、3地区で講義又はワークショップいずれかを1回実施します。</p> <p>3) については、講義又はワークショップは集合、解散の時間を考慮しますが、1日を基本に考えています</p>
<p>仕様書 p.2 3 (1) ⑥講義、ワークショップの実施</p> <p>「アンケート（A4判両面白黒1頁程度/回）の実施・取りまとめ等」と示されています。アンケートの分量がA4判両面1頁程度と認められるものであれば、アンケートを紙媒体ではなくオンラインで実施することは可能でしょうか。</p>	<p>研修は対面での実施を考えていますので現地参加者には紙媒体でお願いします。主体自治体との協議でWEB併用となった場合は紙媒体とオンライン併用です。</p>

<p>仕様書 p. 3 6 成果物</p> <p>成果物郵送先の情報(管内自治体 199 市町村における災害廃棄物処理担当部署や県産業廃棄物協会等の住所など)については、発注者よりご提供いただけると見込んでよろしいでしょうか。</p>	<p>成果物の郵送先は発注者から指示します。住所等の確認は受注者でお願いします。</p>
<p>仕様書 p. 3 6 成果物</p> <p>報告書(概要版)は、電子媒体のみの納品で、紙媒体は不要と見込んでよろしいでしょうか。また、概要版は何ページ程度を想定されているか、ご教示ください。</p>	<p>報告書は仕様書 6 に記載の通り紙媒体(印刷製本)です。</p> <p>概要版は研修概要として紙媒体の報告書の中に入れ込む形式になります。</p> <p>概要版は業務目的を含めて A 4 4 ページ程度です。</p>